

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

参つたんですが、櫻田で大騒動があつ  
 たと聞き、貴方も其中に進入つて居は  
 ならぬかと、江戸へ参つて尋ねられ  
 皆暮れ行方が知れず、江戸を立つて今  
 此處まで参りました處、俺の顔とね見  
 忘れはございませうい、ウシ、何ん  
 で見忘れに宜いものか、仙吉であつた  
 か、仙「ハイ仙吉でございませう、阿文様  
 の懐しうございませう……阿母様は貴方  
 の上田の粹、會津の小娘と名乗るべし  
 源「オ、能く言つた、茲に携へたる  
 此の刀は先祖より傳來の名劍、小娘と  
 呼ばれたる刀、敵師の鍛へたる、新刀  
 にては其類なき二尺二寸の名刀、我幼  
 名を就三郎と云ふたゆへ、小娘の刀を  
 ば親父様に兄に譲らず我に譲る、是れ  
 をば其方に譲るや、今日より仙吉に  
 ては名前さへも面白からず、會津生に

新築落成御披露

過日嚴霜 災厄 相報り候節は御當々  
様方 御盡力に際し 大に上ら  
て相續し候深く御申上候に  
工事長成候節は是處迄茶斤の  
同落成致候節は是處迄茶斤の  
整へての趣に遺漏を完全に  
幸信備御引立の程快しに  
京城永樂町一丁目

御待合 嬉野

裝飾品函 壹個


に依りて恢復さるゝに至らば、獨り北  
韓の利益のみならず韓土全体に好影響  
を與ふるものなるが故に是の狀に當つ  
て三井物産は小田原降陣に止めず實際  
に直轄地を經營するは斯業の發展上愈  
々必要のものに非ざるやと同時に、忽  
ち之を實現するに至らずと▲目下大連口  
之を要するに至らずと▲

南大門外

故に費用のため却つて事業半にして失敗に歸するかも知るべからずされば産  
の外商アミユル商會との競争は昨今  
至り愈々三井の掌中に歸したるが同社

事轉國に於ては鑛業熱熾んに

さるに於ては折角企圖されたる事業界をして再び沈寂に陥れざるべからず況んや北韓の黒鉛事業は將來韓國の富源たるべきものなるを以てなり



眞一鶴

會社が大連上海間定期航路

社より撫順炭販路擴張を囑托せられて  
親しく其衝に當りたる後尾春藏氏は今  
同本社よりの命令により韓國の遼次去  
る十五日午前八時郵船博愛丸にて上海  
と對馬を結ぶものとす。到馬之れを  
右する事體はざるべければ明春に於  
る滿洲の大豆市場は恐らく三井の獨  
舞臺なるべし云々

に對し不法の所爲しよゐをなしたる者

しつゝあるが其一日間に大連に到着する貨量は約七、八百噸を而して同會社に附年々より上海方面輸出を試み機關は吳興貞に對し加害者の處分を要求す新聞なる出日日報刊行より多數の特別ありしが吳興貞は我々要求を容れ加害者を懲罰して新聞發賣其他の方法新開を出して新聞發賣其他の方法

法にも我が警察官に負傷せしめたるを同地駐在永福通領事は清國總督管轄

を托する能はざるを以て水瀧

以上海方面に向つて一月餘に二千萬兩を輸出してゐるが、同市場に於ける石炭の消費量は是れを尠知する事を得ざるもの九州鉄は其八割を上占め、天は開平鐵の一割五厘下の殘餘は即ち滿洲國なり然れども目下の趨勢から推せば尠くとも遠からず上海市場に於ける飽和を凌

今日本郵船株式會社の上海支店に在籍する韓人の保護は之を我國に托する都合なるべしと言を語りたるに吳督辦部合なる許可を得るにあらざれば北京政府の答へたる由なるが本問題同じ在住の韓人の保護上頗る重要となれば他日交渉をするに至らん

第四十九席 邑井一

で居ります。打寄する波は、遙か彼方に富士の峯、雲さへあ



以て辨るる害な体な保す事好はは交は件  
 眞の初め「武蔵さん、何うな  
 何うした武蔵、何もうせん」仙  
 いかうなすつたか、武蔵に追はれて  
 陸方なく、此處まで来たつて、數名と相  
 手へ、割腹殺さんとして居る。仙は  
 れは何うして宜いか分りませんが、全  
 體貴方は何處の方です。武、御身は何  
 方の御方か。仙、俺は源兵衛の木津の者で  
 ございませう。武、なに。木津の者で  
 木津の者とは怪かしい。拙者は何とぞ  
 さう。會津出生、仔細あつて木津の上  
 坂と云ふ所へ養子となりたる上田源之  
 助と申す者。聞いて吃驚り仙吉が、仙  
 夫れちや貴方は阿父さんせん。仙吉が  
 源、阿父さん、仙吉が、仙  
 ハイ貴方の膝を握ひまして水戸まで  
 送はれ、夫れから櫻井の腰刀にも  
 始め愛合ひ、皆松寺に擲つてをなし、  
 尾隨く彼の同志に加はつて、本望を  
 げて彼、遂に彼の場は逃れたけれど  
 探察幾しきが爲め、暫らく鎌倉に身  
 忍び、夫れより東海道を下る折柄、  
 の田子の溝にて邂逅三人に追はれ、  
 らるゝ如く三人は斬つて捨てたが、  
 も數ヶ所の手傷を負ひ、所詮死ぬの  
 が運命。早く割腹殺さんとなせし處  
 親子の縁の盡きずして、此處で遇ふ  
 は能くさん。仙吉名を擧げて呉れ  
 のは深い縁、名を擧げるのけに以往  
 ますまいが、何うか是れから人間に

源「オ、僅く言つた、茲に携へたる刀は先祖より傳來の名劍、小僧にばれたる刀、敵師の藏たる、一寸新刀で、是れ類なく二尺二寸の名刀、我幼て石上坊主と云ふたゆゆ、小僧の刀と云ふは、兄に譲らず我に遺る、是れと云ふ其方に、ゆゆ、今日より仙吉にぞ、是れ名前さへも面白からず、會津生れの上田の侍、會津の小僧と名乗るべし仙吉へ、中へ遣り入りました此の仙吉、夫れぢや、會津の小僧と云ふ、是れから肩當附の縁起にのぞんで、お堀と相いで念誦なりませう、去りながら阿父さんの名を唱へることが、出来ぬと云ふ此の御仕置、南無阿彌陀佛」と云ふ死なんだら此の身体、ア變るには及ばぬやうこの波に流して呉れ、仙「イエ、其體がなかりや、是れから遙か清原に貴がなかりや、是れから遙か清原に貴が父の身体を持つて行つて埋ることに致しますが、ううした處が仕方がない、往來もねむ此の浦邊でございますから四邊の枯木を築めて、現在此の傍に高一片の煙でなし、骨を拾つて木津へ歸り、阿母さんしと諸共に回向とすことに致しますから、阿父さん其の思召しで居て下さい」と仙吉は涙組んで申しました。

御料理席貸  
和樂園 高田家  
(電話九三七番) 米倉町  
料理は萬事御手懸しにて高田  
園内は至極閑靜にして別世界  
土地の氣候にて見ゆれば京城一  
大園の設備も有之候間集會  
又は宴會等に適當に候

[illegible][illegible]

◎本館新築落成に付二月十八日（韓國隆熙四年陰曆正月九日）を以て開館す

◎二月二十日 午後六時より年中無休にて一般看客の

觀覽に供す

◎本館の寫眞は佛國パター會社の最新器械を使用し毎週變換する世界各國にて最も壯觀を極むる山水の風景人事の現象は勿論滑稽、奇術及び世界有名の總ての珍事を映寫するを以て一般の活動寫眞界にて是に斷じて企及し能はざるを明言す

◎本館は寫眞の外に日本美人の花の如き電氣踊を鳴物人にて演じ且つ韓國妓生の舞踏をも加ふるを以て錦上添花を添ふるの觀あるべし

◎本館の建築宏壯にして内部の完全せる、裝飾の美麗なる

て一般に誇る所なり  
 ◎本館の擔任技師は青森縣人中村初太郎にして活動寫眞畫  
 の本邦創業以來吉澤商店及びバター會社に技師兼教授さ  
 して精巧老練の技術を有し斯界に錚々の評あり其映寫の  
 巧妙なるは優美なる活動寫眞は活きたる教育にして又家  
 庭の娛樂として最も之に優るものなるべし尙開館後は映  
 顧御來觀の程偏に希望に堪へず候

入場料  
 四等 金貳拾錢  
 三等 金拾錢  
 二等 金五拾錢  
 一等 金壹圓  
 特等席 金壹圓

每日午後  
 六時開館

京城黃金町（農商工部通）  
 京城高等演藝館











